

■井上角五郎 福沢諭吉の指示で朝鮮に渡るも志を果たせず。政財・教育界で実績を挙げ、郷里のために巡回図書館。

いのうえかくごろう

桜田門外変・1860＝ 備後国深津郡野上村(現福山市古野上町)の農家に生まれる。

薩摩藩士密航1865＝ 5歳：付近の寺子屋で手習いはじめ、

大政奉還・・1867＝ 7歳：福山藩儒の山室武佐衛門汲古に就いて漢字を学びはじめたが、学業成績がとくに優秀であったため、師の推薦により特例として藩校誠之館への入学を許された。

明治維新・・1868＝ 8歳：

戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

とくに数理に長じていたので学校から準得業生の称を授けられ、月々多少の手当を支給されていた。誠之館は、一次二次の教育改革、廃藩置県による県移管を経て、

学問のすすめ1872＝12歳：閉校となったが、閉校前に退学し、引続き漢籍は門田重長、数学は江間平一両師の私塾に通って研鑽。

明治6年政変 1873＝13歳：井上家の所有地内にはじめて小学校が設けられ、わずか13ながら、村人の依頼でこの学校の教師となる。

三つの内乱・1876＝16歳：母の許しを得て、広島県立尋常師範学校福山分校に入学。

大久保暗殺・1878＝18歳：卒業し、_小学校教員免許状を受け、深津・安那郡の小学校に勤務したが、青雲の志やみがたく、
沖縄県編入・1879＝19歳：_同郷野上村出身の先輩をたよって上京。その先輩のすすめもあって、福沢諭吉の門をたたき、その家庭教師・書生として住みこむとともに慶応義塾に通学。のち、後藤象二郎の知遇を得て学資の補助を受け、

明治14年政変1881＝21歳：

新体詩抄・・1882＝22歳：

岩倉具視没・1883＝23歳：

卒業。_朝鮮で親日策をとる閔妃一派に反対する大規模な兵士の反乱(壬午の變)が起きると、
*福沢の指示によって朝鮮にわたって、朝鮮政府の顧問となるとともに、朝鮮を文明化させようとする福沢の意を汲んで、識字率が10%でしかなかった朝鮮で、ハングルを用いた新聞{漢成旬報(のち漢城週報)}の発行にも力をつくし、ハングルを復活させる役割を担い、

秩父事件・・1884＝24歳：

国民之友始・1887＝27歳：

さらに、日本の支援のもとで朝鮮の独立と政治改革をめざすクーデターが失敗(甲申の變)するなど、
_志を果たせずに帰国後は、政治家をめざし、

帝国憲法発布1889＝29歳：

帝国議会始・1890＝30歳：

*後藤象二郎率いる大同団結運動に参加し、第1回の衆議院議員に当選、以後、連続当選13回、

郡司千島探検1893＝33歳：北海道炭鉄株式会社理事、

日清戦争始・1894＝34歳：

自由党を経て、

白馬会・・・1896＝36歳：

政友会に移ったが、

Bushidou・・1899＝39歳：_北海道炭鉄株式会社専務、

田中正造直訴1901＝41歳：方針対立で除名。

_その他、主要な会社・銀行等の経営者になるとともに、教育界においても大きな足跡を残し、とくに「国民工業学院」の理事長として、その創立・経営につとめ、工業道德の振興に力をそそぎ、

日露戦争終・1905＝45歳：

韓国反日暴動1907＝47歳：_日本製鋼所を起して会長に就任、

韓国併合・・1910＝50歳：*辞職すると、郷里の青年に資するべく、井上巡回文庫の設置に着手、深津・安那郡の巡回図書館を開始、

明治天皇没・1912＝52歳：

大正政変・・1913＝53歳：

第一次大戦始1914＝54歳：

_芦品郡にも巡回図書館、

大暴落・・・1920＝60歳：_緑綬褒章。

原敬首相暗殺1921＝61歳：

関東大震災・1923＝63歳：東京の住まい周辺の西片町会を組織。

護憲三派圧勝1924＝64歳：

治安維持法・1925＝65歳：

*この年まで衆議院議員をつとめた。
_郡制廃止と同時に、巡回図書館蔵書を各郡小学校へ分配寄贈。

金融恐慌・・1927＝67歳：福山教育義会財団の評議員に当選。

満州事変・・1931＝71歳：

五一五事件・1932＝72歳：

日中戦争始・1937＝77歳：

健保+総動員 1938＝78歳：_没した。